

思いは遠く

思いは遠くまぶたの裏側
戻らない日々かすかな記憶
遠くの空の 雲の合間に 見下ろす地平
その手前に 同じ高さで稜線続く

憧れていたピークハントで
思いがつのるやまなみ見つめる
自分を探し何かを探し歩き続けた
その記憶は今になっても色褪せない

あれこれと考えて疲れることなく
ひたすらに進むことだけやればいい
日常の雑多にまみれることなく
ひとつのことだけやれる幸せ感じる

終わったことはすぐに忘れる
都合のいいことだけを残して
長く生きた今の自分は随分ズルく
あの頃のように悩み続けることなくなった

憧れること今はなんだろう
揺れる心ときめきを求めて
自分を探し何かを探し歌い続ける
その時だけが遠い思いと一つになる

あれこれと考えて疲れることなく
ひたすらにできることだけやればいい
日常の雑多にまみれることなく
ひとつのことだけやれる幸せ感じる